

第3学年 保健体育科 年間学習計画と評価

1 学年の目標等について

目標	<p>体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習活動を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を次のとおり育成する。</p> <p>【体育分野】</p> <p>(1)運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、運動を豊かに実践できるようにするため、運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)運動についての自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。</p> <p>(3)運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって運動に親しむ態度を養う。</p> <p>【保健分野】</p> <p>(1)個人生活における健康・安全について理解し、基本的な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)健康についての自他の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。</p> <p>(3)生涯を通じて心身の健康の保持増進を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。</p>
教科書	最新 中学校保健体育 (大修館書店)
副教材等	図解 中学体育 (あかつき)

2 評価の観点及び方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・ 選択した運動の技の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方についての具体的な方法及び文化としてのスポーツの意義についての考え方を理解している。 ・ 健康な生活と疾病の予防、心身の機能の発達と心の健康、傷害の防止、健康と環境について個人生活を中心として科学的に理解している。 ・ 選択した領域の運動の特性に応じた基本的な技能や保健に関する基本的な技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生涯にわたって運動を豊かに実践するための自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 ・ 個人生活における健康に関する課題を発見し、その解決を目指して科学的に思考し判断しているとともに、それらを他者に伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、公正、協力、責任、参画、共生などに対する意欲をもち、健康・安全を確保して、学習に主体的に取り組もうとしている。 ・ 自他の健康の保持増進や回復についての学習に主体的に取り組もうとしている。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業の様子や発言内容 ・ 学習カードや授業ノートの記述 ・ 定期テスト等 ・ 実技テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業の様子や発言内容 ・ 学習カードや授業ノートの記述 ・ 定期テスト ・ 課題解決学習 ・ 振り返りフォーム 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業の様子や発言内容 ・ 学習カードや授業ノートの記述

3 学習についてのアドバイス

学校	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習課題等を捉え、自分なりの課題をもち、その解決に向け工夫して取り組みましょう。 ・ 先生の指示や友達の発言をしっかりと聞き、自分に取り入れましょう。 ・ どの学習活動も粘り強く取り組みましょう。 ・ 学習カードや振り返りフォームをで、学んだことや次の時間の課題などを整理しましょう。 ・ ルールやマナーを守り、怪我や事故に気をつけ、安心・安全な活動につなげましょう。
家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業に入る前には、教科書等の内容を読むようにしましょう。 ・ 授業で学んだ健康や安全など保健に関わる知識や技能は、家庭でも活用するように心がけましょう。

4 主な単元・教材及び目標

※目標については、主なものを明記しています。

月	主な単元・教材等	目標（学習を通して身に付ける力）
1 学 期	体づくり運動（8）	<ul style="list-style-type: none"> 心と体の関係や変化、心身の状態に気付き、仲間と自主的に関わることができる。 自分や仲間の課題を発見し、解決に向けて工夫するとともに、自分や仲間が考えたことを伝えることができる。 自主的に取り組み、助け合い教え合おうとする。
	陸上競技（14） ・ハードル ・走り幅跳び	<ul style="list-style-type: none"> 【ハードル走】リズムカルな走りから滑らかにハードルを越すことができる。 【走り高跳び】リズムカルな助走から力強く踏み切って大きな動作で跳ぶことができる。 【共通】 自分の課題を発見し、解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自分の考えたことを伝える。 積極的に取り組み、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、仲間の課題や挑戦を認めようとするなどや、健康・安全に気を配ったりしている。
	水泳（8）	<ul style="list-style-type: none"> 学んできた泳法で、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすることができる。 自分や仲間の課題を発見し、解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自分の考えを伝えることができる。 自主的に取り組み、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを守ろうとすること、自分の責任を果たそうとすること、仲間の課題や挑戦を大切にしようとするなどや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保することができる。
	感染症の予防（4）	<ul style="list-style-type: none"> 感染症の予防、健康を守る社会の取り組みについて、理解することができる。 習得した知識を自他の生活に適用したり、応用したりして、疾病等にかかるリスクを軽減し健康を保持増進する方法を選択することができる。 課題の解決に向けた学習に自主的に取り組むことができるようにする。
2 学 期	ダンス（8）	<ul style="list-style-type: none"> 【現代的なリズムのダンス】リズムの特徴を捉え、変化のある動きを組み合わせ、リズムに乗って全身で踊る。 自分の課題を発見し、解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自分の考えたことを伝える。
	球技（8） ・ネット型 バレーボール	<ul style="list-style-type: none"> ボールや用具の操作と定位置に戻るなどの動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。 自分の課題を発見し、解決に向けての取り組み方を工夫するとともに、自分の考えたことを伝える。 積極的に取り組み、フェアプレイを守ろうとすること、作戦などについての話合いに参加しようとするなどや、健康・安全に気を配ることができる。
	武道（8） ・柔道	<ul style="list-style-type: none"> 相手の動きに応じた基本動作や基本となる技を用いて、投げたり抑えたりするなどの簡易な攻防をすることができる。 自分の課題を発見し、解決に向けての取り組み方を工夫するとともに、考えたことを伝える。 積極的に取り組み、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、友達の課題や挑戦を認めようとするなどや、禁止技を用いないなど健康・安全に気を配る。
	ネット型（8） バドミントン	<ul style="list-style-type: none"> ボールや用具の操作と定位置に戻るなどの動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。 自分の課題を発見し、解決に向けての取り組み方を工夫するとともに、自分の考えたことを伝える。 積極的に取り組み、フェアプレイを守ろうとすること、作戦などについての話合いに参加しようとするなどや、健康・安全に気を配ることができる。
	ゴール型（8） アルティメット	<ul style="list-style-type: none"> ボール操作と空間に走りこむなどの動きによってゴール前での攻防をすることができる。 自分の課題を発見し、解決に向けての取り組み方を工夫するとともに、考えたことを伝える。 積極的に取り組み、フェアプレイを守ろうとすること、作戦などについての話合いに参加しようとするなどや、健康・安全に気を配ることができる。

健康を守る社会の取組 (4) 健康と環境 (6)	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症の予防、健康を守る社会の取り組みについて、理解する。 ・習得した知識を自他の生活に適用したり、応用したりして、疾病等にかかるリスクを軽減し健康を保持増進する方法を選択する。 ・課題の解決に向けた学習に自主的に取り組むことができるようにする。・健康と環境について、理解することができる。 ・課題を発見し、疾病等のリスクを軽減したり、生活の質を高めたりすることなどに関連付けて解決方法を考え、適切な方法を選択し、それらを伝え合うことができる。 ・課題の解決に向けた学習に自主的に取り組むことができる。
--------------------------------	--

3 学 期	選択種目 A・B 球技から選択	<ul style="list-style-type: none"> ・ボールや用具の操作と定位置に戻るなどの動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。 ・ボール操作と空間に走りこむなどの動きによってゴール前での攻防をすることができる。 ・自分の課題を発見し、解決に向けての取り組み方を工夫するとともに、自分の考えたことを伝える。
	体育理論 (3)	<ul style="list-style-type: none"> ・文化としてのスポーツの意義について理解することができる。 ・自分の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えることができる。

※各運動領域において、その運動ならではの楽しさや喜びを味わい、特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを理解することも身に付ける力として含む。